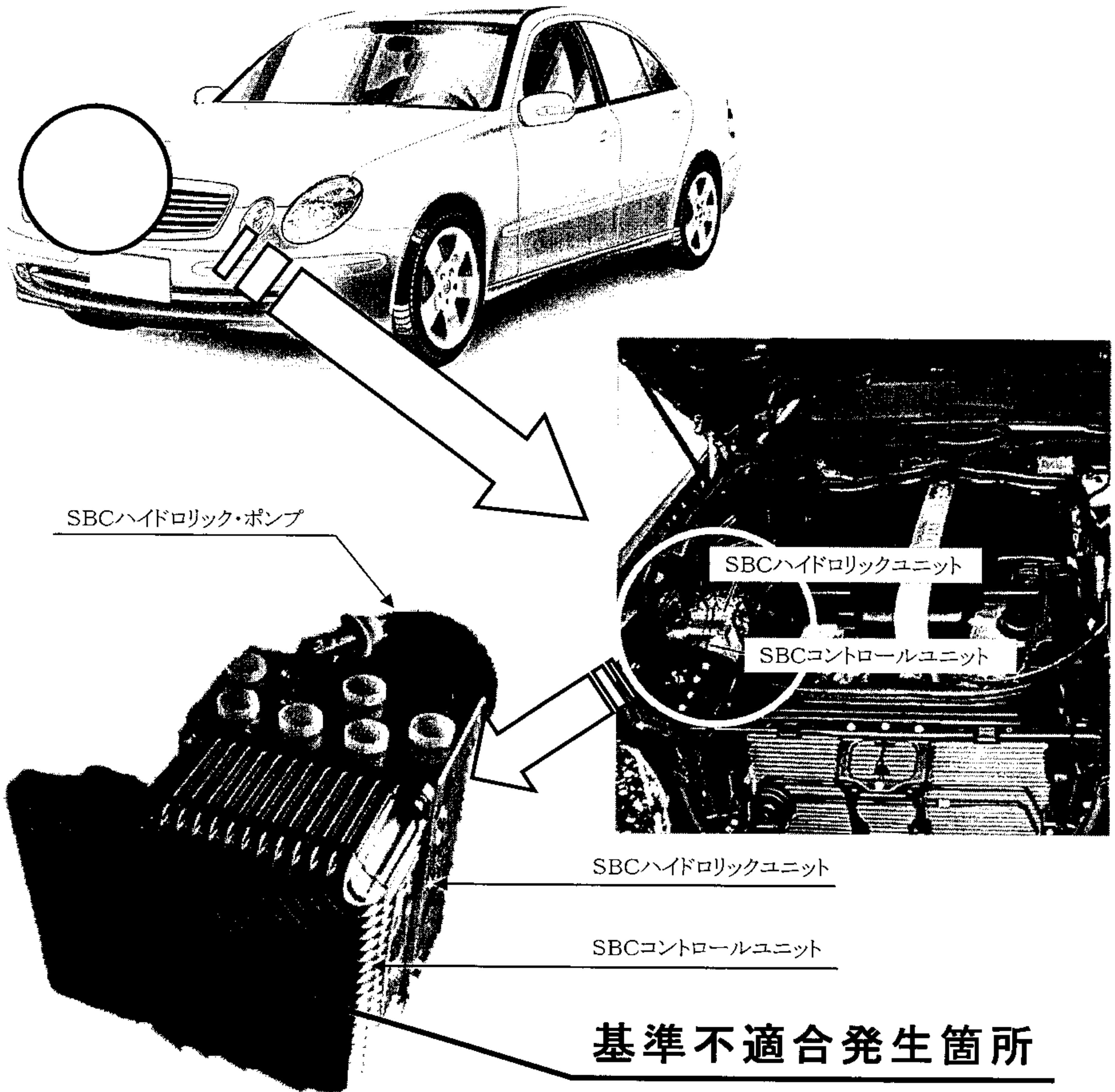


改善箇所説明図



注: は交換部品を示す。

- ① 電子制御式油圧ブレーキのコントロールユニットのプログラムが不適切なため、ブレーキ操作を頻繁に行うと、ポンプ・モータを適切に制御できなくなり、ブレーキ液の圧力が不安定になることがある。そのため、ブレーキ液の圧力のセンサーが圧力の異常を感知して、緊急対応用の機能が作動し、警告灯の点灯、及び、警告メッセージがメータパネル内に表示されるとともに、通常の踏力ではブレーキの効きが悪くなるおそれがある。
- ② 電子制御式油圧ブレーキのコントロールユニットのプログラムが不十分なため、ポンプ・モータの性能の低下を検知することができず、ブレーキ液の圧力が不安定になることがある。そのため、ブレーキ液の圧力のセンサーが圧力の異常を感知して、緊急対応用の機能が作動し、警告灯の点灯、及び、警告メッセージがメータパネル内に表示されるとともに、通常の踏力ではブレーキの効きが悪くなるおそれがある。

改善の内容

- ①② 全車両、当該コントロールユニットの制御プログラムを改善したものに更新する。

対策プログラムの供給に時間を要することから、当面の暫定処置として、全ての使用者に不具合内容
を通知し、後日当該コントロールユニットのプログラムを更新する。